



2026年7月15日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 F P パ ー ト ナ ー
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 黒 木 勉
(コード番号：7388 東証プライム市場)
問 合 せ 先 取 締 役 安 達 健 二
TEL. 03-6801-8278 (部署直通)

通期業績予想の修正及び期末配当予想の据え置きに関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2026年7月15日開催の取締役会において、2026年1月14日に公表した2026年11月期（2025年12月1日～2026年11月30日）の業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、2026年11月期期末配当予想については変更ありません。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2026年11月期 通期業績予想の修正（2025年12月1日～2026年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2026年1月14日公表）	百万円 36,261	百万円 3,326	百万円 3,467	百万円 2,222	円 銭 96.62
今回修正予想（B）	31,793	2,300	2,417	1,617	70.08
増 減 額（B－A）	△4,468	△1,025	△1,049	△605	－
増 減 率（％）	△12.32%	△30.83%	△30.28%	△27.23%	－
（ご参考）前期実績 （2025年11月期）	32,104	2,984	3,153	2,042	88.79

(2) 修正の理由

2026年11月期の期初予想においては、業容拡大の見込みを踏まえ、前期比13%増の売上高を予想しておりました。しかし、2024年11月期の当社に関する一部報道等を起因として、2025年11月期以降営業社員数の純減が続いております。また、2025年11月期に関東財務局から受領した業務改善命令を起因とし、提携企業集客が一時的に低調となっております。あわせて、第2四半期（中間期）の販売動向においては、為替変動の影響により外貨建て一時払い商品の加入需要が高まった一方で、収益性の高い保障性商品の販売が低調に推移しました。その結果、販売商品構成の改善は想定を下回る状況となりました。外貨建て一時払い商品についても、一部の生命保険会社の商品の支払方法が翌年度以降に繰り越される「L字型」へと変更となり、当期及び今後の売上高計上に影響を及ぼしております。また、販売ボリュームの減少に伴い業務品質手数料率が低下し、売上高及び利益の伸びが抑制され、直近の業績予想を下回りました。

通期業績予想については、今後の施策を通じて提携企業集客の拡大、営業社員数の純増、ならびに販売商品構成の改善と新規契約件数の拡大を図ってまいります。現時点においては、これらの成果につい

ては慎重に見込んでおります。また、保険契約見込顧客数の拡大に関して、下半期は提携企業集客と自社集客ともに拡大させてまいりますが、その売上高への反映は翌期以降となるため、今期における利益への寄与は限定的となります。以上の、中間期までの実績と今後の見通しを踏まえ、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益の通期業績予想を下方修正いたしました。

当社は今後も、ファイナンシャルプランニングの提供を通じて、顧客の潜在ニーズの可視化に努め、経営方針に基づき、ご本人及びご家族の将来に備えるための最適な商品提案を行ってまいります。これにより、顧客の意向やニーズに応じた提案機会を拡げ、販売量の増加を通じた収益の拡大と販売商品構成の適正化を進め、来期以降も含めた業績の向上に取り組んでまいります。

2. 配当予想に関して

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を重要な経営課題であると認識しており、財務体質の強化と事業拡大のために必要な内部留保を考慮した上で、累進配当を継続して実施することを基本方針としております。配当性向については45%を目安としております。そのため、2026年11月期の当期純利益は計画値を下回る予想といたしましたが、2026年1月14日に「2025年11月期 決算短信」で公表した配当予想を据え置き、期末配当は1株当たり配当金を47円とする予定です。

【お問い合わせ窓口】

本件に関するお問い合わせは、皆さまへの公平性を確保する観点から、文書（メールまたはお問い合わせフォーム）にて承っております。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

メールでのお問い合わせ先：ir_report@fpp.jp

お問い合わせフォーム：https://ir.fpp.jp/ir_inquiry/

以上